

# 大学生のスマートフォンの使用の実態について

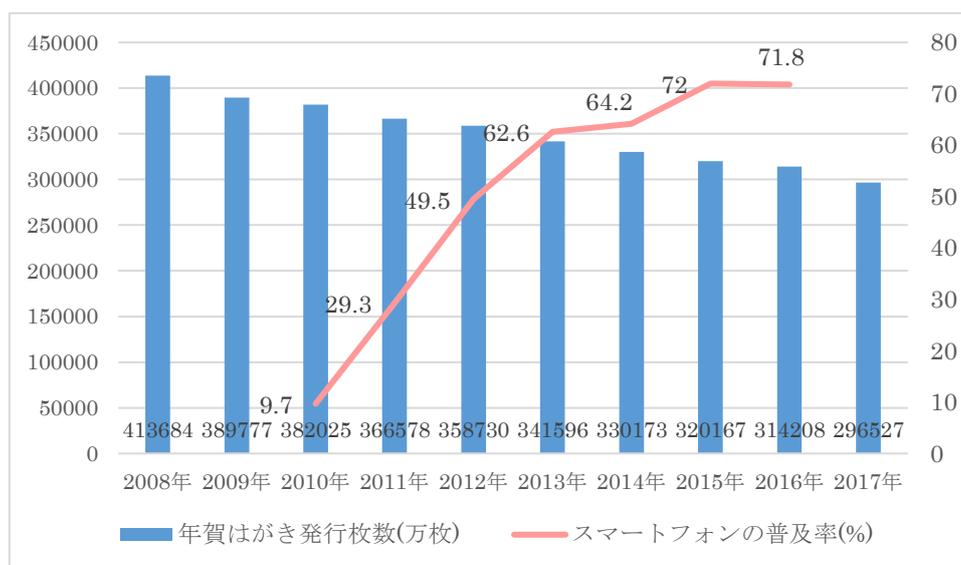
松尾 奈々美（文教大学情報学部メディア表現学科）

## 1、はじめに

今や1人に1台は当たり前のスマートフォン。スマートフォンは電話としてだけでなく様々な事ができるのが大きな特徴であり、それが普及した要因の中の1つだと考えられる。例えばメール、SNSなど連絡手段としてはもちろんのこと、ゲーム・漫画などの娯楽、インターネット、画像編集・加工アプリなどアプリをインストールすることにより、様々なことができる。だが多くのスマートフォンにははじめから備わっている機能も多くある。多くの人があたりまえの様に使用しているものとしては懐中電灯、時計・アラーム、メモ帳などがあげられる。懐中電灯は災害時などに役立つと話題になったこともあった。

一方でスマートフォンが代用品として使用され、衰退しているものがあるのも現実である。大学生1,007人を対象にマイナビ学生の窓口が調べた腕時計に関する調査によると腕時計を持っている人は約80%、だが毎日身に着けるのはその中の52%の424人だった。※1

図表-1. 年賀はがきの発行枚数とスマートフォンの普及率



また、ここ数年話題となっている年賀はがきの減少もその1つである。図表-1は年賀はがきの発行枚数とスマートフォンの普及率を合わせたものである。年賀はがき発行枚数のピークは2003年の44億5936万枚だった。だが、昨年の2017年にはついに30億枚をきった。スマートフォンの2017年の普及率はまだ公開されていないが数年の値からして70%前後である事は予想できる。このようにスマートフォンの普及により逆風が吹いた業界は他にもあるのではないのだろうか。

私は酒寄祐希氏の「大学生の時間管理に関する調査～アナログとデジタルからみえる予定管理～（2017年 メディア調査研究法Ⅲ（総合演習）報告書）」の論中に述べられていた酒寄氏と同じ経験をしたことがある。友人と予定を確認しようとする友人は、手帳ではなく

スマートフォンを取り出した。また私は友人がスマートフォンをみて自分の髪形やメイクの確認している姿を見て驚いた。スマートフォンを鏡の代わりにしていたのだ。スマートフォンと鏡は一見何の関係もないものだが、その友人はそれを当たり前のようにはしていた。自分の生活において便利なため自然とそのように使うようになったのだろう。

人類が進化しよりよい生活を求める。1970年代にパソコンが誕生し、1980年代後半には持ち歩けるノートパソコンや携帯電話のはじまりであるショルダーフォンが誕生した。1990年代にガラパゴス携帯の軽量化、2000年後半にはついにスマートフォンが世に出るようになった。たった10年前のことなのだ。だがそのたった10年でスマートフォンはみるみるうちに便利なものになっていった。

そのように普及したスマートフォンはさまざまなアプリを入れることにより、持ち主によってオリジナルのものとなってゆく。だがその一方で多くのスマートフォンが共通でもっている機能がいくつかあり、それらがあるからこそより多くの人が必要品としていることに加えて、身近にあるスマートフォンで済ませようとしているのではないか。これはスマートフォンの機能に加えてスマートフォンというモノ自体を活用しているということも考えられる。よってスマートフォンは当然メディアであるが、モノとしても利用されていると考えられる。これらを調べれば人々がスマートフォンというモノを実際どのように使用しているかを明らかにすることができる。

今までの「メディア効果研究」は、メディアまたはそれらが発信した情報に対して受け手がどのような影響を受けているかということに重きをおいて研究されてきた。だが「利用と満足研究」とは、使用している媒体そのものまたはそれらが発信している「メディア」に対しての利用方法や満足度・影響力のことである（ユン・チャンギ 2012）。明治大学の竹下俊郎氏いわく「「利用と満足研究」は、人びとがマスメディアをどのように利用し、そこからどのような満足（欲求充足）を引き出しているかを調べるということから命名されたものである。受け手研究のもう一つの主要なアプローチである効果研究は、マスメディアの送り手やメッセージを分析の起点として、それが受け手にどのような変化をもたらすかを追究する。これに対して、利用と満足研究は、受け手個人の欲求を分析の起点として、受け手が自らの欲求充足のためにメディアをどう役立てているかを調べる。研究対象は同じマスメディア利用行動であっても、利用と満足研究の視点は、効果研究のそれとはきわめて対照的といえる。」（竹下俊郎 1997）

今回私はインターネットに接続しなくても使える機能や物体そのものの活用法という視点からスマートフォンの利用と満足研究をしていこうと思う。

## 2、調査研究方法

### 2-1.調査概要

#### 2-1-1.調査経緯

- 4～5月 事前学習
- 6月 テーマ決定
- 7～8月 予備調査実施
- 9～11月 本調査検討・本調査票作成
- 12月 本調査実施
- 1～2月 集計・詳細分析・報告書作成

#### 2-1-2.目的

大学生を対象にスマートフォンの日常生活におけるよりリアルな使用について調査する。

#### 2-1-3.主な質問項目

- ・時計・スケジュール管理・ポイントカード・鏡・メモの所持、持ち歩き、使用頻度について
- ・お金の管理の感覚について
- ・時間の感覚について
- ・優等生タイプ、リーダータイプ、行動タイプなど外面的キャラクターパーソナリティ測定のための変数
- ・明るい、細かいことに気が付くなど内面的思考パーソナリティ測定のための変数
- ・フェイスシート

### 2-2.実施概要

#### ①調査時期

2017年12月12日～26日

#### ②調査方法

Googleのアンケート機能を使用した調査

#### ③サンプリング

サンプリングサイズの決定は母集団を文教大学(8729人)としサンプリングサイズの公式に当てはめたところ370人のデータが必要であると割り出された。ここ数年同授業にて同じ手法でのアンケートへの回答率は約20%ということを考慮し、計画標本数を1000人とした。

2017年度の新入生入学者数を元に学籍番号から文教大学学生集計表を作成。それを

用い文教大学に在籍する生徒数を学科ごとにおいて 16 の層を作成する。次に層別にみた構成比を計算した。

各層に割り当てられた人数を抽出するため文教大学学生集計表を用い、学科ごとに系統抽出する。

※学籍番号からの推計学生数であり、実際の在學生数とは異なる

※卒業年次移行の学生や、学籍番号の番号配置が異なる留学生は含まれていない

※以前他のアンケートに回答したことのある人を除き抽出

※メールを送信することができなかつた場合も非対象とする

④依頼数・有効回答数

依頼数：974

有効回答数：262(回収率 27.5%)

図表-2. 調査該当者学科別割合

学科	学生数	割合	割り当て数
学校教育課程	1124	12.93%	47.84
心理教育課程	455	5.23%	19.37
人間科学	640	7.36%	27.24
臨床心理	570	6.56%	24.26
心理	626	7.20%	26.64
日本語日本文学	597	6.87%	25.41
英米語英米文学	557	6.41%	23.71
中国語中国文学科	421	4.84%	17.92
外国語学科	83	0.95%	3.53
情報システム	455	5.23%	19.37
情報社会	394	4.53%	16.77
メディア表現	443	5.10%	18.86
国際理解	563	6.48%	23.96
国際観光	602	6.93%	25.62
管理栄養	436	5.02%	18.56
経営	727	8.36%	30.94
合計	8693		370

### 3、調査結果

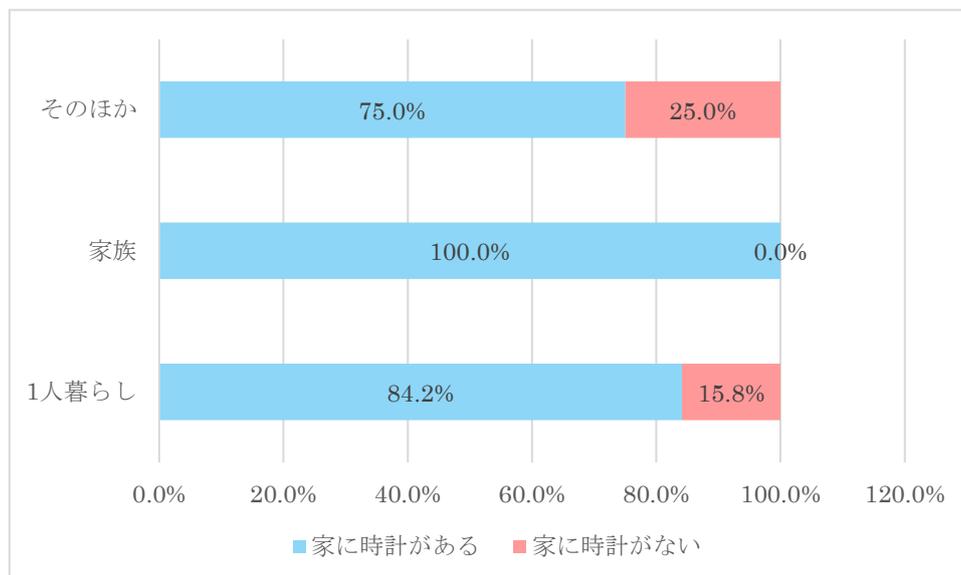
#### 3-1.回答者について

今回の回答は 61.8%が女性 38.2%が男性とやや女性が多いデータとなった。暮らしの状況としては「実家暮らし」が 58.4%、1人暮らしをしている人が 38.5%だった。また 82.1%の人がアルバイトをしているという結果だった。

#### 3-2.時計に関する回答

家に時計がある人は 93.1%、ない人は 6.9%だった。また住まい別にみると、家族と住んでいる家には必ず時計があるが、一人暮らしで家に時計がない人は全体で 6.1%いるということが分かった。これらの関連をクロス集計表で整理した結果、図表-3 のようになった。カイ二乗検定の結果 ( $\chi^2=28.102$ 、 $df=2$ )、1%水準で有意な関連があることが分かった。つまり住まいと家の時計の有無には関係があるということが出来る。

図表-3. 住まい別にみた時計の有無の割合



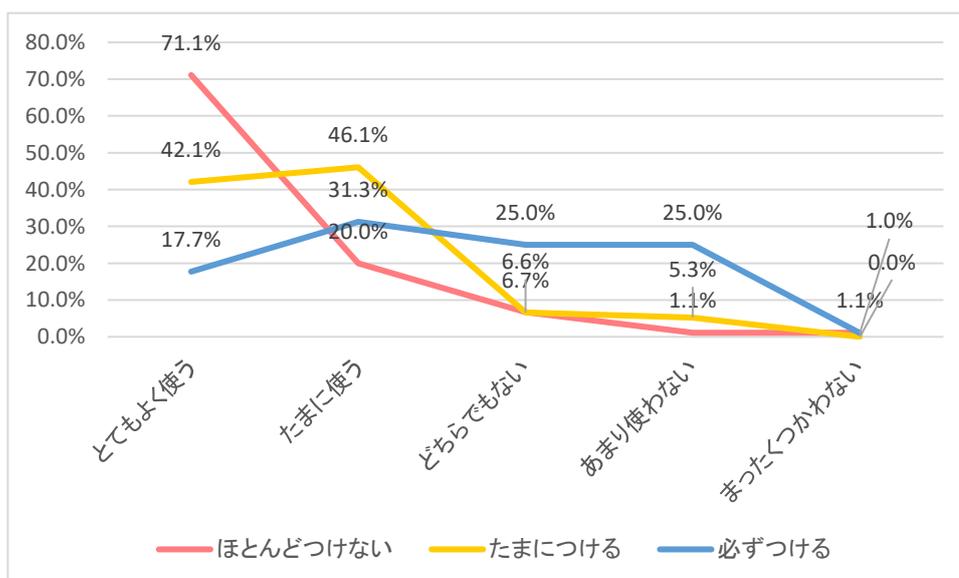
図表-4. 住まい別にみた家の時計の有無のクロス集計表

	あなたの家に時計はありますか。		合計	
	ある	ない		
あなたの現在の住まいについて教えてください。	1人暮らし	85 84.2%	16 15.8%	101 100.0%
	実家暮らし	153 100.0%	0 0.0%	153 100.0%
	その他	6 75.0%	2 25.0%	8 100.0%
合計	244 93.1%	18 6.9%	262 100.0%	

また「家の時計の有無」と「住まい」には大きな関係が見られた。この先デジタル慣れた若者たちが親となったときには「時計を置いていない家」が増えていく可能性も考えられる。

出かけるときに時計を付けるかの割合は「必ずつける」36.6%、「たまにつける」29.0%、「ほとんどつけない」34.4%とあまり大きな差はなかった。だが「時間の確認にスマートフォンをどのくらい使用するか」という回答と掛け合わせてみると時計を付けるかで時間を確認するのにスマートフォンを「とてもよく使う」に大きな差がうまれた。また必ず時計を付ける人もスマートフォンで時間を確認しているということが分かった。

図表-5. 普段出かけるときに時計をつけているか別にみた時間の確認にスマートフォンを使用する頻度



「スマートフォンは正確な時間を確認するのに役立つか」ということに対し 67.4%が「とてもそう思う」、「少しそう思う」は 25.8%で 9 割以上が肯定的という回答であった。「スマートフォンのアラームは忘れていたものを思い出すのに役立つと思うか」という質問には「とてもそう思う」「少しそう思う」が合わせて 44.7%、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が合わせて 31.3%でやや肯定的に思っている人が多かった。私の日常生活では多くの人がアラームで予定などを通知しているように感じていたが、忘れていたものを思い出させるためではなく時間であることを気づかせるために念のため使用しているのかと考えられる。

「スマートフォンは正確な時間を確認するのに役立つと思うか」という質問では「とてもそう思う」「少しそう思う」と回答したのが 93.1%というデジタル機器への高い信頼度をうかがえる結果となった。

### 3-3. ポイントに関する回答

ポイントカードは 95.8%の人が所持しており、73.7%の人が必ず持ち歩いているという結果になった。「普段どのようにポイントを貯めたり使用しているのか」は「カード」が 89.3%と圧倒的に多かった。近頃はスマートフォンのアプリでポイントを貯めたりすることができるが「ポイントを貯めたり使用するのにスマートフォンをどのくらい使用するか」という回答は「よく使う」「たまに使う」を合わせて 29.8%が「どちらでもない」が 14.9%、「あまり使用しない」「全く使用しない」が合わせて 55.0%と、使用していない人の割合の方が多結果となった。さまざまな分野がデジタル化しているがまだポイントの世界ではアナログが一般的であるという結果になった。

「スマートフォンはスピーディーに決済をするのに役立つと思うか」という質問では「とてもそう思う」「少しそう思う」が合わせて 59.9%、「どちらでもない」が 20.6%、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が合わせて 18.7%という結果でスピーディーに決済ができるものであると半数以上の人認識しているようだ。加えて「スマートフォンは店舗に足を運ぶ手間を減らすのに役に立つと思うか」ということに対し「とてもそう思う」「少しそう思う」は 60.3%、「どちらでもない」は 21.8%、「あまりそう思わない」「全くそう思わない」は合わせて 17.5%だった。

### 3-4. スケジュール管理に関する回答

スケジュール帳は 81.7%の人が持っており、必ず持ち歩く人は 62.6%だった。「どのような媒体でスケジュール管理をしているか」は「スケジュール帳」が 79.8%と最も多く次に 45.4%という結果になった。「スケジュール管理でスマートフォンをどのくらい使用するか」という回答では 53.0%が「使わない」という結果になった。これについての考察は次の 4 章にて詳しくおこなっていく。

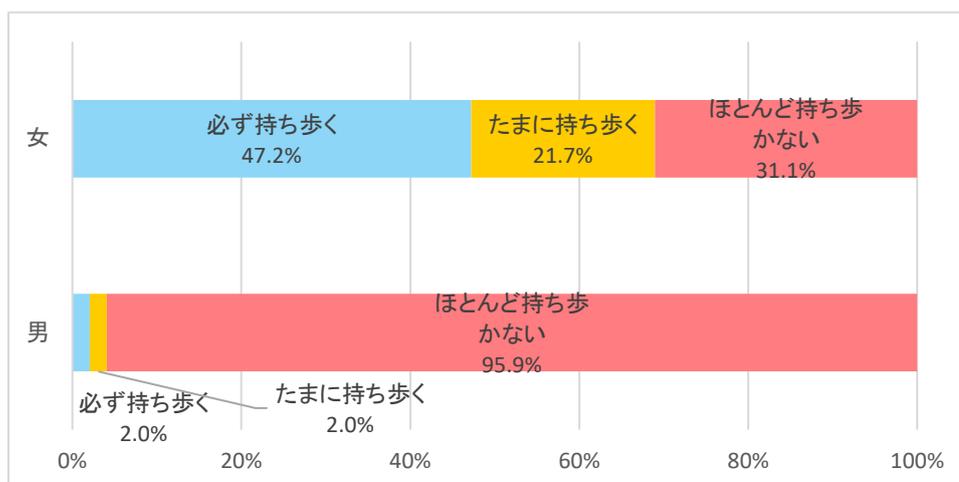
「スマートフォンは日々の計画を立てるのに役立つと思うか」という質問には「とても

そう思う」「少しそう思う」のが 51.9%だが「スマートフォンは1日を振り返るのに役立つと思うか」という回答に「とてもそう思う」「少しそう思う」と答えたのは 32.8%とあまり好評ではなかった。

### 3—5.鏡に関する回答

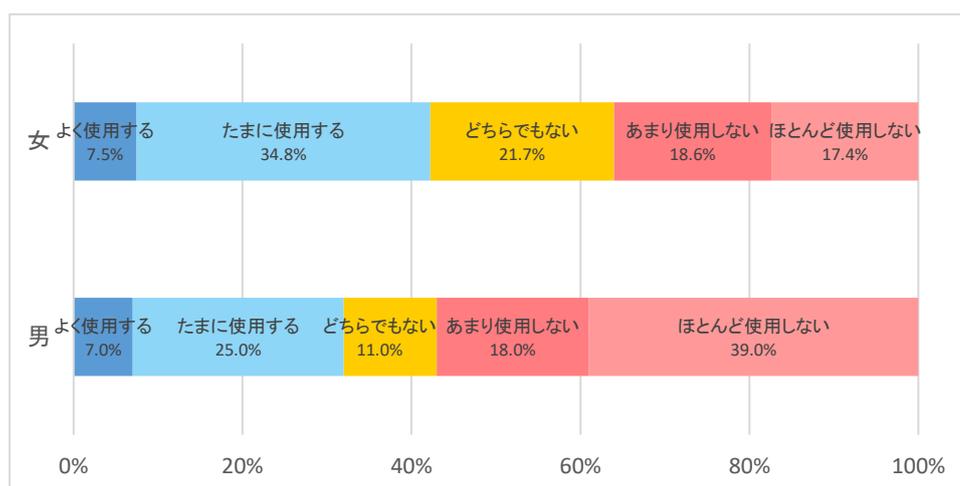
女子の必需品とも言われている鏡だが最近では女性の約 3 割の人が持ち歩いていないという結果が出た。

図表-6. 男女別に見た鏡の所持率



女性でスマートフォンを鏡のように使用している人は 42.3%だった。男性でも 32%使用していた。

図表-7. 男女別身だしなみを確認するためにスマートフォンを使用する頻度



「スマートフォンは自分の身だしなみをチェックするのに役立つ」と回答したのは 46.9%と約半数の人が感じているようだ。また「スマートフォンは持ち物を減らすのに役立つと思うか」という質問に「とてもそう思う」「少しそう思う」は合わせて 46.6%だった。

### 3—6. メモに関する回答

メモ帳を持っているのは 59.2%だが必ず持ち歩く人は 18.3%ととても少なかった。普段メモをするのは「スマートフォン」が 65.3%で最も多く、次に「スケジュール帳」が 54.6%だった。「どのくらいの頻度でスマートフォンをメモとして使用するか」には 59.5%が「とてもよく使う」「たまに使う」と回答した。また 81.9%の人が資料やメモとして写真を撮影しており、76.3%の人が「スマートフォンは手軽にメモするのに役立つ」と思っていること、スマートフォンは資料を手元に残すのに 71.8%が役立つと思っていることが分かった。

### 3—7. スマートフォンとの距離感に関する回答

スマートフォンは未来を管理するのに役立つと 50.8%が考えている。スマートフォンを自分の一部だと思っている人は 36.7%とやや少なく、自分をアピールするのにスマートフォンは役立つと思っている人は「とてもそう思う」人が 9.9%と少なく「あまりそう思わない」「全くそう思わない」が 48.1%と約半数が思っているようであった。スマートフォンは今や毎日の生活に欠かせないものであり、ほとんどの人が毎日持ち歩いているものである。だがさまざまなデータの入ったそれを自分の一部だとはあまり感じていない人が多い。だがスマートフォンは「自分のデータである」。情報社会の現代ではデータがとても重要なものであるが多くの人がそのように認識していないのであろう。

他の人がしていなさそうなスマートフォンの使用方法」としては、趣味の分野で活用していたり、日々の記録や勉強に活用している人が多く稀に肩こり解消のマッサージ道具として使用していたり紙などが飛んでいかないように文鎮としてスマートフォンという物体を活用している人もいた。

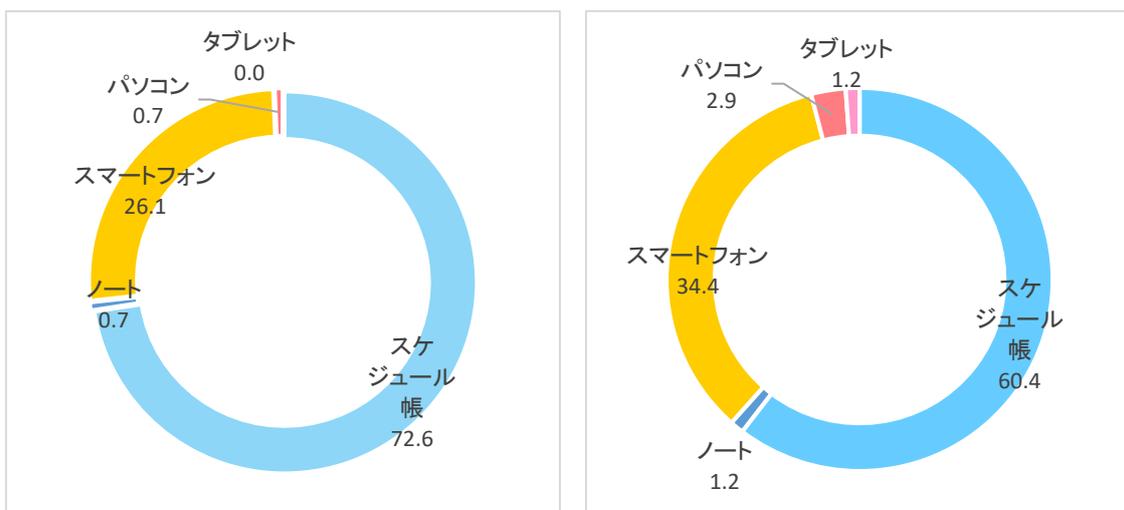
### 3—8. 生活に関する回答

「自分でお金の計画・管理をきちんとできている」と思っている人は 57.6%で「できていない」と考えている人は 31.3%だった。「ここ最近時間が足りないと感じる」人は 84.8%もいた。「感じない」という人は 7.3%と大変少なかった。大学生は時間があると世の中では言われているが大学生達自身はそのように感じていないようである。

## 4. 先行研究との比較と考察

### 4—1 使用しているスケジュール管理ツールに関して

図表-7 は昨年度同じ授業でスケジュール管理について研究していた酒寄氏の図表をスケジュール管理している人のみのデータを抽出し加工したものである。今回の調査で得た図表-8 と比較するとたった 1 年だがスケジュール帳使用者が減り、スマートフォンの使用者が 8.3%も増えておりデジタル化していることが示されている。



図表-8(左) . スケジュール管理で使用している媒体(2016)

図表-9(右) . スケジュール管理で使用している媒体(2017)

#### 4-2. 外面的キャラクターパーソナリティ測定に関して

酒寄氏はスケジュール管理で「アナログ方式を好む人」か「デジタル方式を好む人」で分類し行動に違いがあるのか比較している。そのため本調査でもアナログ派とデジタル派でサンプルを分類した。今回の調査のアナログ派デジタル派の分け方は時計・ポイント・スケジュール管理・鏡・メモとしてスマートフォンをどれほど使用していたかの平均得点を算出しスマートフォンの使用頻度で高い人をデジタル派、低い人をアナログ派とした。その上で、図表-9のような質問を用いて、バリマックス回転を用い主成分分析による因子分析を行った。

第一因子には、複数のことを同時に考えながら作業することができる、物事をうまく処理できる自信がある、突然その日の予定が変わっても自分の中で整理できる「柔軟タイプ」のような頭を使うことが得意な傾向にある因子が抽出された

第二因子には、意見を提案することが多い、積極的にリーダーとして働きたいと思うという物事を中心になる「リーダータイプ」の因子が抽出された。

第三因子には、旅行の計画をするのが好きだ、将来の目標がある、人と広く付き合う方だという交流と計画を好む傾向の「計画タイプ」的因子が抽出された。

第四因子には、重要な目標を決めても、めったに成功しない、物事の段取りをするのが苦手という「マイペースタイプ」という因子が抽出された。

	優等生 タイプ	リーダー タイプ	行動 タイプ	平均
物事の段取りをするのが苦手だ	-.712	-.212	.123	2.99
突然その日の予定が変わっても自分の中で整理できる	.653	.013	.307	2.14
物事を覚えるのが苦手である	-.645	-.053	-.022	2.86
重要な目標を決めても、めったに成功しない	-.614	-.217	.163	2.94
将来の目標がある	.562	.311	-.121	2.5
意見を提案することが多い	.013	.815	.077	2.78
積極的にリーダーとして働きたいと思う	.156	.768	.000	3.36
人と広く付き合うほうだ	.253	.639	.016	2.89
物事をうまく処理できる自信がある	.345	.51	.276	2.97
計画を立てるより、行動してしまうことが多い	-.17	.311	.638	2.56
旅行の計画をするのが好きだ	.333	.444	-.622	2.51
複数のことを同時に考えて作業することができる	.427	.086	.563	3.1

図表-10. 因子分析結果-アナログ-1(2016)

	因子1	因子2	因子3	因子4	平均
複数のことを同時に考えて作業することができる	.741	.231	.065	-.043	.248
物事をうまく処理できる自信がある	.711	.466	.055	-.168	.266
突然その日の予定が変わっても自分の中で整理できる	.582	-.101	.253	.023	.190
物事を覚えるのが苦手である	-.519	.189	.026	.422	.030
意見を提案することが多い	.130	.725	.162	-.249	.192
積極的にリーダーとして働きたいと思う	.287	.671	.390	-.036	.328
計画を立てるより、行動をしてしまうことが多い	-.387	.604	-.170	.220	.067
旅行の計画をするのが好きだ	.167	-.030	.748	.009	.224
将来の目標がある	-.013	.146	.665	-.263	.134
人と広く付き合う方だ	.148	.463	.614	.098	.331
重要な目標を決めても、めったに成功しない	.107	-.116	-.135	.823	.170
物事の段取りをするのが苦手	-.371	-.031	-.008	.684	.069

図表-11. 因子分析結果-アナログ-1(2017)

	リーダー タイプ	堅実 タイプ	マイペー スタイル	慎重 タイプ	平均
積極的にリーダーとして働きたいと思う	.789	.055	-.332	.047	3.54
人と広く付き合うほうだ	.752	.084	.241	.026	3.22
物事をうまく処理できる自信がある	.703	.382	-.188	.231	2.88
意見を提案することが多い	.687	.021	-.254	.122	2.88
突然その日の予定が変わっても自分の中で整理できる	-.039	.849	-.045	.006	2.22
複数のことを同時に考えて作業することができる	.489	.55	.118	.293	2.8
将来の目標がある	.172	.528	-.252	.108	2.84
重要な目標を決めても、めったに成功しない	-.321	-.484	.374	.431	2.86
物事を覚えるのが苦手である	.015	-.038	.797	-.216	2.96
物事の段取りをするのが苦手だ	-.244	-.231	.762	-.04	3.12
旅行の計画をするのが好きだ	.179	-.07	-.193	.697	3.7
計画を立てるより、行動してしまうことが多い	-.102	-.269	.08	-.624	2.44

図表-12. 因子分析結果-デジタル-1(2016)

	因子 1	因子 2	因子 3	平均
積極的にリーダーとして働きたいと思う	.805	.014	.026	.282
人と広く付き合う方だ	.670	-.066	.098	.234
意見を提案することが多い	.658	.331	.060	.350
物事をうまく処理できる自信がある	.567	.431	-.176	.274
旅行の計画をするのが好きだ	.540	-.021	-.232	.096
将来の目標がある	.417	.309	-.198	.176
突然その日の予定が変わっても自分の中で整理できる	-.015	.785	-.016	.251
重要な目標を決めても、めったに成功しない	.040	-.599	.458	-.034
複数のことを同時に考えて作業することができる	.440	.588	-.002	.342
計画を立てるより、行動をしてしまうことが多い	.155	.337	.768	.420
物事の段取りをするのが苦手	-.271	-.204	.690	.072
物事を覚えるのが苦手である	-.034	-.289	.629	.102

図表-13. 因子分析結果-デジタル-1(2017)

デジタル派の因子分析の結果、3つの因子分析が抽出された。第一因子には積極的にリーダーとして働きたいと思う、人と広く付き合う方だ、旅行の計画をするのが好きだという傾向の「優等生タイプ」な因子が抽出された。

第二因子には突然その日の予定が変わっても自分の中で整理できる、複数のことを同時に考えて作業することができるなど「理論タイプ」的因子が抽出された。

第三因子には計画を立てるより、行動をしてしまうことが多い、物事の段取りをするのが苦手と「行動タイプ」的な因子が抽出された。

酒寄氏のものとは今回の結果を比較する。

まずアナログ派について。酒寄氏の第1因子の特徴は、段取りをするのが得意で予定の変化を頭の中で整理できて、覚えることが得意で、目標を掲げたら成功して、将来の目標があるという特徴だ。一方今回の調査の第1因子の特徴は複数のことを同時並行で作業することができて、物事をうまく処理できる自信があり、予定の変更を頭の中で整理することができて、覚えることが得意だということ。

これらは似ているように見えるが、スケジュール管理だけに限定した酒寄氏の優等生タイプはひとりでやることや目標というものに向かっていくことを得意とし、時計・ポイント・スケジュール管理・鏡・メモなど全てを含めた今回の調査の柔軟タイプは対人に対する行動や、状況や周囲の変化に対応することができるという性質をもっている。スケジュール管理という自分のためだけにおこなうことだけではなく、待ち合わせに関わる時計や人から見られる見た目など人から見られる、ということが関わってくることで完全な自分軸ではなく人も関わってくる中での自分軸という回答になったと考えられる。

また酒寄氏の因子は3つであったが今回の結果の因子は4つであった。また平均値を比較してみると酒寄氏のは項目で平均値に大きな差はみられないが今回は項目で差が出るものが多かった。結果、アナログ派の因子分析結果は酒寄氏とは違った分析結果が出たといえる。

次にデジタル派について。酒寄氏の第1因子の特徴はリーダーとして働きたいとっていて、人と広く付き合い、物事をうまく処理できる自信があり、意見を提案することが多いという性質を持っている。そして今回の調査の第1因子はそれに加えて旅行の計画が好きで、将来の目標があるという特徴があり周りの環境などを考慮する項目と完璧な自分軸の両方の項目が加わった。スケジュール管理だけに限定した酒寄氏のものに加えて、今回の時計・ポイント・スケジュール管理・鏡・メモなど全てを含めるとより広い視点や感覚で回答がされたのではないかと。

因子の数は酒寄氏の結果では4つ今回の結果は3つと異なる因子ではあった。だが、酒寄氏の第1因子を形成している項目はすべて今回の結果の第1因子にも含まれている。また第2因子においても今回の結果の3つの項目が酒寄氏の第2因子にすべて含まれている。デジタル派は異なる因子ではあったがとても似ている特徴を持った因子であったといえる。

酒寄氏の調査ではアナログ派の第二因子が、デジタル派の第一因子となっていた。だが今回の調査のデジタル派の第一因子はアナログ派の第二因子とは異なっていた。(図表-11、12)

これらのことから、手帳の使用の仕方でのデジタル派アナログ派とスマートフォンでの時計・ポイント・スケジュール管理・鏡・メモなどの使用の仕方でのデジタル派アナログ派の因子は違うものであったといえる。だがデジタル派の因子は全体的に同じような傾向があった。そのためデジタル派というのは媒体により異なる性質があるがアナログ派には「優等生」「リーダー的要素がある」という共通の特徴があるのではないか。

#### 4-3. 内面的思考パーソナリティ測定に関して

今回の調査では独自の行動に関する12項目の質問に対しても、デジタル派アナログ派の平均点を算出し、バリマックス回転を用いて主成分分析による因子分析をおこなった。

アナログ派の因子分析の結果、4つの因子が検出された。第一因子には、自分は積極的だと思ふ、誰にでも話しかけることができる、人前に出ることが苦手ではないという「明るい」因子が抽出された。第二因子には几帳面だと思ふ、情報収集が得意、行動は慎重にする、掃除が好きという「細かいことに気が付く」因子が抽出された。第三因子には流行は気になる、または気にしている、服装に気をつかう、自分は人目を気にすることが多い、大人数で騒ぐことが好きという「世間体」の因子が抽出された。最後第四因子には衝動買いすることが多いという「欲に忠実」という因子が抽出された。

	成分				平均値
	1	2	3	4	
自分は積極的だと思ふ	.841	.031	.098	.124	.274
誰にでも話しかけることができる	.823	.169	.198	-.088	.275
人前に出ることが苦手	-.812	.189	.069	.022	-.133
几帳面だと思ふ	-.116	.795	.190	.134	.251
情報収集が得意	.161	.674	-.093	-.089	.163
行動は慎重にする	-.075	.654	-.057	-.408	.029
掃除が好き	-.006	.646	.227	.055	.230
流行は気になる、または気にしている	.102	-.047	.815	.210	.270
服装に気をつかう	.209	.207	.742	-.060	.274
自分は人目を気にすることが多い	-.411	-.027	.688	-.142	.027
大人数で騒ぐことが好き	.310	.323	.540	.222	.349
衝動買いすることが多い	-.001	-.034	.068	.927	.240

図表-14. 内面的思考パーソナル測定による因子分析結果-アナログ

デジタル派の因子分析の結果、3つの因子が抽出された。第一因子には几帳面だと思う、行動は慎重にする、情報収集が得意、掃除が好きという「細かいことに気が付く」因子が抽出された。第二因子には、自分は積極的だと思う、誰にでも話しかけることができる、人前に出ることが苦手ではないという「明るい」因子が抽出された。第三因子には、服装に気をつかう、流行は気になる、または気にしている、大人数で騒ぐことが好き、衝動買いすることが多い、自分は人目を気にすることが多いという「世間体」因子が抽出された。デジタル派アナログ派では度数は違うが因子自体に大きな違いは見られなかった。デジタル派とアナログ派は第一因子と第二因子が逆であった。

同じような性質をもっているがほとんど順番が違うだけという結果が出た。

平均値は多くの項目でアナログ派がデジタル派よりも低い点数であった。アナログ派がデジタル派よりも高い平均点だったものは「大人数で騒ぐのが好き」「衝動買いをすることが多い」であった。また平均値の差が著しく表れた項目は「自分は人目を気にすることが多い」「行動は慎重にする」「情報収集が得意」であった。

これらのことからアナログ派は友好関係が広く、人目を気にしないような特徴があると考えられる。アナログ派というのは生活が充実しておりスマートフォンに頼らずとも別のツールが存在しているのかもしれない。

	成分			平均値
	1	2	3	
几帳面だと思う	.849	-.122	.097	.275
行動は慎重にする	.726	-.105	-.060	.187
情報収集が得意	.670	.101	.123	.298
掃除が好き	.641	.220	.059	.307
自分は積極的だと思う	.109	.854	.189	.384
誰にでも話しかけることができる	.033	.828	.150	.337
人前に出ることが苦手	-.007	-.719	.097	-.209
服装に気をつかう	.212	.197	.723	.377
流行は気になる、または気にしている	.331	-.087	.702	.315
大人数で騒ぐことが好き	-.044	.183	.631	.257
衝動買いすることが多い	-.146	-.043	.566	.126
自分は人目を気にすることが多い	.183	-.387	.421	.072

図表-15. 内面的思考パーソナル測定による因子分析結果-デジタル

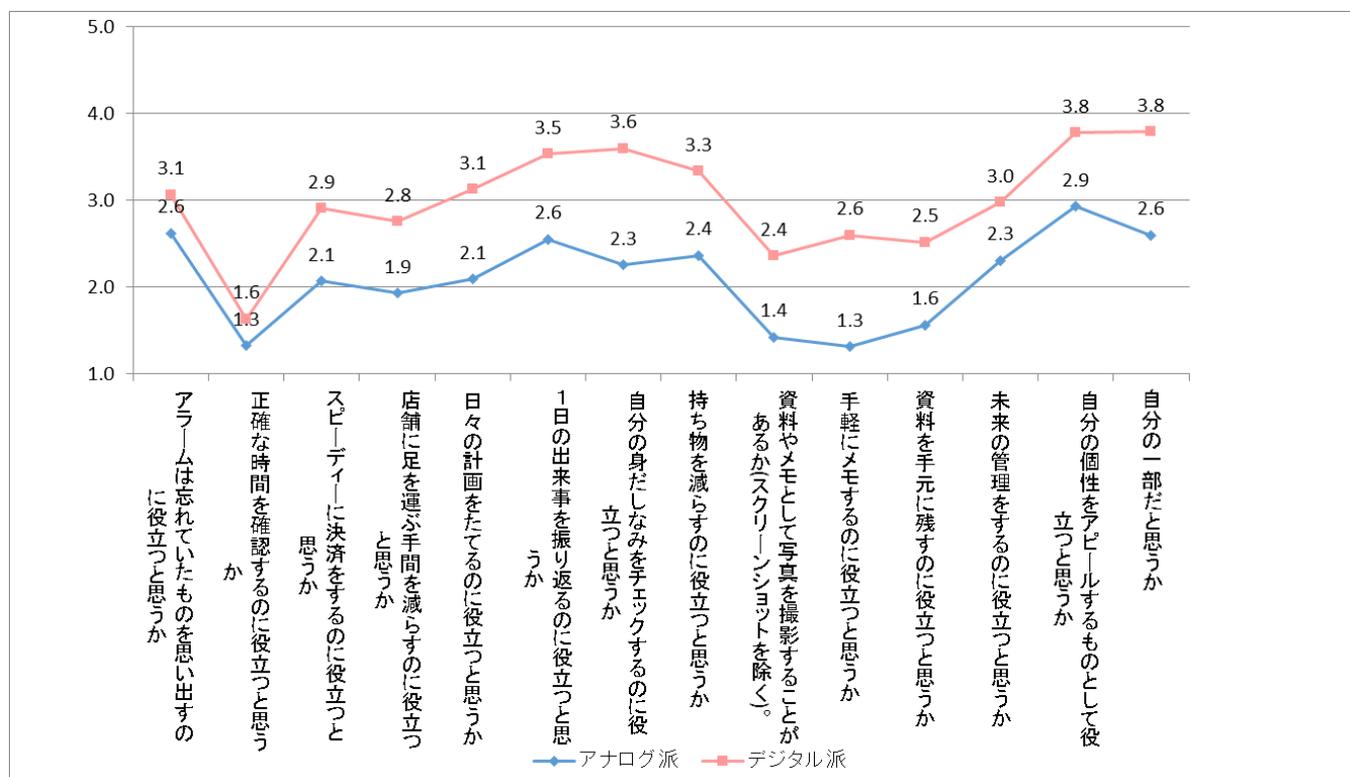
#### 4-4. ツールの役立ち度

スマートフォンがどのように役立っているか、スマートフォンをどのように思っているか伺った。

スマートフォンがどのように役立つと思うか 14 項目の質問に対してデジタル派アナログ派で独立した t 検定をおこなった。アナログ派デジタル派の分け方は時計・ポイント・スケジュール管理・鏡・メモとしてスマートフォンをどれほど使用していたかの平均得点を算出して、その数値の高低で分類した。今回はデジタル派とアナログ派の差を明確にするため 3 分類しスマートフォンの使用頻度で高い人をデジタル派、使用度が平均的なグループ、低い人をアナログ派としデジタル派とアナログ派を比較した。(図表-15)

各項目デジタル派の平均点数からアナログ派の平均点数を引いた数値をまとめた。また独立したサンプルの t 検定を行った。すべての項目でデジタル派とアナログ派で関連があるという結果になった。

まず、最も大きな度数の差がでたのが「自分の身だしなみをチェックするのに役立つと思うか」だった。次に差が出たのが「手軽にメモするのに役立つと思うか」次に「スマートフォンを自分の一部だと思うか」最後に「日々の計画をたてるのに役立つと思うか」だった。また逆に差が最も低かったものは「正確な時間を確認するのに役立つと思うか」であった。このことからスマートフォンはデジタル派アナログ派に関わらず正確な時間を刻むものとしての認識があるといえる。(図表-17)



図表-16. スマートフォンがどのように役立つと思うか

	度数の差	t 値	自由度	有意確率 (両側)
アラームは忘れていたものを思い出すのに役立つと思うか	0.44	-2.389	160	.018
正確な時間を確認するのに役立つと思うか	0.31	-2.485	160	.014
スピーディーに決済するのに役立つと思うか	0.84	-4.744	160	.000
店舗に足を運ぶ手間を減らすのに役立つと思うか	0.82	-4.733	160	.000
日々の計画をたてるのに役立つと思うか	1.04	-5.747	160	.000
1日の出来事を振り返るのに役立つと思うか	0.98	-5.511	160	.000
自分の身だしなみをチェックするのに役立つと思うか	1.34	-6.993	160	.000
持ち物を減らすのに役立つと思うか	0.97	-5.061	160	.000
資料やメモとして写真を撮影することがあるか (スクリーンショットを除く)。	0.94	-5.829	159	.000
手軽にメモするのに役立つと思うか	1.28	-9.434	160	.000
資料を手元に残すのに役立つと思うか	0.95	-5.886	160	.000
未来の管理するのに役立つと思うか	0.67	-3.810	159	.000
自分の個性をアピールするものとして役立つと思うか	0.85	-4.297	160	.000
自分の一部だと思うか	1.19	-6.536	160	.000

図表-17. スマートフォンがどのように役立つと思うかデジタル派とアナログ派の差

## 5、まとめ

今回の調査は自らインストールするタイプのアプリではなく、「もともと入っているアプリ」や「スマートフォンという物体そのもの」の使用状況と、加えて「性格行動やスマートフォンの使用頻度の違いにより」違いがあるのかなどを明らかにすることを目的としておこなった。

今回の調査によってメモ帳や時計など、スマートフォンにもともと入っているアプリや機能が頻繁に使用されていること、鏡などとしてスマートフォンという物体そのものが活用されていることを証明することができた。

また昨年酒寄氏の使用しているスケジュール管理ツールを比較することによりたった1年の間でもデジタル化している傾向を示すことができた。

今回の調査ではスマートフォンに対して様々な項目で役に立つと思うかという質問をしたが、それと加えてあなたはどのように使用しているのかという質問も加えることにより意識・考えと行動を比較することができたのではないかと考えた。また心配性であるかどうかを判断できる質問とスマートフォンへの信頼度を測定できるような質問も設定しておきアナログ派デジタル派での比較をすることができたらよりサンプルの性格を分類したう

えでのおもしろい分析がおこなえた可能性もある。心配性とデジタルへの信頼度執着度は違うのではないか。このような調査を今後進めていきたい。

今回の調査のような視点からスマートフォンを調査することにより SNS やインターネットにつながなくとも受け手は様々な面でスマートフォンを使用しているのである。こうした「利用と満足研究」もあるのではないだろうか。今までにこのような視点から研究している人はまだいないと思われるがこの研究がこの分野のスタートとなったら幸いである。

「利用と満足研究」はテレビを中心とした既存のメディアを中心におこなわれているが、これからは「欲求」や「動機」の定義、サンプルの性格を分析する「行動質問」も「利用と満足研究用」のものを確立することと新しいメディアの「利用と満足研究」をおこなっていくことでこの研究はより活発化し意味あるものになり、結果求められていくのではないだろうか。

## 6、参考・引用文献

- ・大学生の腕時計に関する調査 <https://gakumado.mynavi.jp/gmd/articles/52306>
- ・竹下俊郎(1997)「メディアの議題設定機能 マスコミ効果研究における理論と実証」
- ・ユン・チャンギ (2012)『利用と満足研究』の歴史と現状 —ニューメディアにおける「利用と満足研究の可能性」東洋大学大学院紀要、49 号
- ・ガベージニュース <http://www.garbagenews.net/archives/2114695.html>
- ・総務省  
<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h29/html/nc111110.html>
- ・酒寄祐希(2016)「大学生の時間管理に関する調査 ～アナログとデジタルからみえる予定管理～」
- ・パソコン博物館 <http://museum.ipsj.or.jp/computer/personal/history.html>

# 大学生とスマートフォンに関する調査

本調査は、大学生とスマートフォンの関係について調査することを目的としています。回答者のプライバシーの保護に配慮し、ご回答はすべて統計的に処理しますのでご迷惑をおかけすることはございません。ぜひとも素直なご意見をお聞かせください。お忙しいところ誠に申し訳ございませんが、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 時計についてお伺いします。

---

### 1. あなたの家に時計はありますか。

1つだけマークしてください。

- ある 93.1%  
 ない 6.9%

### 2. あなたは普段出かけるときに時計を付けていますか。

1つだけマークしてください。

- 必ずつける 36.6%  
 たまにつける 29.0%  
 ほとんどつけない 34.4%

### 3. あなたは普段、何で時間を確認していますか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- 腕時計 43.5%  
 近くにある時計 38.9%  
 スマートフォン 84.0%  
 人に聞く 9.2%  
 その他: \_\_\_\_\_ PC、お腹の空きぐあい、テレビ etc...

### 4. あなたは時間の確認にスマートフォンはどのくらい使用しますか。

1つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

とてもよく使う 43.1% 31.7% 13.4% 11.1% 0.8% 全く使わない

### 5. あなたはスマートフォンのアラームは忘れていたものを思い出すのに役立つと思いますか。

1つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

とてもそう思う 12.6% 32.1% 24.0% 21.0% 10.3% 全くそう思わない

6. あなたはスマートフォンで正確な時間を確認するのに役立つと思いますか。

1つだけマークしてください。

1      2      3      4      5

とてもそう思う   66.8% 26.3% 5.0% 0.8% 1.1%   全くそう思わない

## ポイントについてお伺いします。

---

7. あなたはポイントカードを持っていますか。

1つだけマークしてください。

持っている      95.8%

持っていない      4.2%

8. あなたは普段ポイントカードを持ち歩きますか。

1つだけマークしてください。

必ず持ち歩く      73.7%

たまに持ち歩く      20.2%

ほとんど持ち歩かない      5.7%

9. あなたは普段どのようにポイントを貯めたり使用していますか。

当てはまるものをすべて選択してください。

紙      22.9%

カード      89.3%

ネットショッピングのポイント      29.4%

スマートフォンのアプリ      34.7%

10. あなたはポイントを貯めたり使用するのにスマートフォンはどのくらい使用しますか。

1つだけマークしてください。

1      2      3      4      5

とてもよく使う   8.8% 21.0% 14.9% 24.8% 30.2%   全く使わない

11. あなたはスマートフォンでスピーディーに決済するのに役立つと思いますか。

1つだけマークしてください。

1      2      3      4      5

とてもそう思う   23.3% 36.6% 20.6% 13.0% 5.7%   全くそう思わない

12. あなたはスマートフォンで店舗に足を運ぶ手間を減らすのに役立つと思いますか。

1つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

とてもそう思う 29.8% 30.5% 21.8% 11.8% 5.7% 全くそう思わない

## スケジュール管理についてお伺いします。

---

13. あなたはスケジュール帳を持っていますか。

1つだけマークしてください。

- 持っている 81.7%  
 持っていない 18.3%

14. あなたは普段手帳を持ち歩きますか。

1つだけマークしてください。

- 必ず持ち歩く 62.6%  
 たまに持ち歩く 16.4%  
 ほとんど持ち歩かない 21.0%

15. あなたはどのような媒体でスケジュールを管理していますか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- スケジュール帳 79.8%  
 ノート 1.5%  
 スマートフォン 45.4%  
 パソコン 3.8%  
 タブレット 1.5%

16. あなたはスケジュール管理でスマートフォンをどのくらい使用しますか。

1つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

とてもよく使う 16.8% 19.1% 10.7% 24.4% 28.6% 全く使わない

17. あなたはスマートフォンで日々の計画をたてるのに役立つと思いますか。

1つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

とてもそう思う 19.5% 32.4% 22.9% 16.4% 8.8% 全くそう思わない

18. あなたはスマートフォンで1日の出来事を振り返るのに役立つと思いますか。

1つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

とてもそう思う 11.8% 21.0% 28.6% 25.2% 13.4% 全くそう思わない

## 鏡についてお伺いします。

---

19. あなたは手鏡をもっていますか。

1つだけマークしてください。

- 持っている 53.1%  
 持っていない 46.9%

20. あなたは普段鏡を持ち歩いていますか。

1つだけマークしてください。

- 必ず持ち歩く 29.8%  
 たまに持ち歩く 14.1%  
 ほとんど持ち歩かない 55.0%

21. あなたはどのように身だしなみを確認しますか。

当てはまるものをすべて選択してください。

- 人に聞く 19.8%  
 手鏡 41.2%  
 スマートフォン 58.8%

22. あなたは身だしなみをチェックするのにスマートフォンをどのくらい使用しますか。

1つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

とてもよく使う 7.3% 30.9% 17.6% 18.3% 25.6% 全く使用しない

23. あなたはスマートフォンで自分の身だしなみをチェックするのに役立つと思いますか。

1つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

とてもそう思う 11.8% 35.1% 19.1% 17.9% 16.0% 全くそう思わない

24. あなたはスマートフォンで持ち物を減らすのに役立つと思いますか。

1つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

とてもそう思う 16.4% 30.2% 21.4% 18.7% 13.4% 全くそう思わない

## メモについてお伺いします。

---

25. あなたはメモ帳を持っていますか。

1つだけマークしてください。

持っている 59.2%

持っていない 40.8%

26. あなたはメモ帳を普段持ち歩いていますか。

1つだけマークしてください。

必ず持ち歩く 18.3%

たまに持ち歩く 35.5%

ほとんど持ち歩かない 45.0%

27. あなたはなににメモをすることが多いですか。

当てはまるものをすべて選択してください。

手 7.6%

プリントの余白 42.4%

メモ帳 34.4%

スケジュール帳 54.6%

スマートフォン 65.3%

28. あなたはメモするのにスマートフォンをどのくらいの頻度で使いますか。

1つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

とてもよく使う 24.8% 34.7% 15.3% 17.9% 6.9% 全く使わない

29. あなたは資料やメモとして写真を撮影することがありますか(スクリーンショットを除く)。

1つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

よく使う 48.5% 32.4% 10.7% 4.2% 3.4% まったく使わない

30. あなたはスマートフォンで手軽にメモするのに役立つと思いますか。

1つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

とてもそう思う 45.8% 30.5% 15.3% 6.5% 1.5% 全くそう思わない

31. あなたはスマートフォンで資料を手元に残すのに役立つと思いますか。

1つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

とてもそう思う 37.8% 34.0% 17.9% 6.1% 3.8% 全くそう思わない

## あなたは以下のことについてどのように思いますか。

---

32. あなたはスマートフォンで未来の管理をするのに役立つと思いますか。

1つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

とてもそう思う 16.4% 34.4% 26.0% 17.2% 5.7% 全くそう思わない

33. あなたはスマートフォンは自分の個性をアピールするものとして役立つと思いますか。

1つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

とてもそう思う 9.9% 23.3% 18.7% 25.6% 22.5% 全くそう思わない

34. あなたはスマートフォンが自分の一部だと思いませんか。

1つだけマークしてください。

1 2 3 4 5

とてもそう思う 10.7% 26.0% 21.8% 21.8% 19.8% 全くそう思わない

35. あなたはほかに人がしていなさそうなスマートフォンの使い方をしていませんか、またそれはどのような使い方ですか。

課題をする、アンケート回答のバイト、体重管理、メトロノーム、肩こり解消マッサージ、発声練習、ぶんちん etc...

36. あなたは自分でお金の計画・管理がきちんとできていると思いますか。

1つだけマークしてください。

- できていると思う 20.6%
- 少しできていると思う 37.0%
- どちらでもない 11.1%
- あまりできていない 25.6%
- ほとんどできていない 5.7%

37. あなたはここ最近時間が足りないと感じますか。

1つだけマークしてください。

- とても感じる 54.6%
- すこし感じる 30.2%
- どちらでもない 7.3%
- あまり感じない 5.0%
- 感じない 2.3%

38. あてはまるものを選んでください

当てはまるものをすべて選択してください。

	あてはまる	少しあてはまる	どちらでもない	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない
自分は積極的だと思う	<input type="checkbox"/>				
自分は人目を気にすることが多い	<input type="checkbox"/>				
流行は気になる、または気にしている	<input type="checkbox"/>				
掃除が好き	<input type="checkbox"/>				
情報収集が得意	<input type="checkbox"/>				
誰にでも話しかけることができる	<input type="checkbox"/>				
人前に出ることが苦手	<input type="checkbox"/>				
衝動買いすることが多い	<input type="checkbox"/>				
服装に気をつかう	<input type="checkbox"/>				
几帳面だと思う	<input type="checkbox"/>				
大人数で騒ぐことが好き	<input type="checkbox"/>				
行動は慎重にする	<input type="checkbox"/>				

39. あてはまるものを選んでください

当てはまるものをすべて選択してください。

	あては まる	少しあては まる	どちらでも ない	あまりあてはま らない	まったくあてはま らない
物事の段取りをするのが 苦手	<input type="checkbox"/>				
人と広く付き合う方だ	<input type="checkbox"/>				
将来の目標がある	<input type="checkbox"/>				
突然その日の予定が変わ っても自分の中で整理で きる	<input type="checkbox"/>				
重要な目標を決めても、 めったに成功しない	<input type="checkbox"/>				
複数のことを同時に考え て作業することができる	<input type="checkbox"/>				
旅行の計画をするのが好 きだ	<input type="checkbox"/>				
意見を提案することが多 い	<input type="checkbox"/>				
物事を覚えるのが苦手で ある	<input type="checkbox"/>				
物事をうまく処理できる 自信がある	<input type="checkbox"/>				
積極的にリーダーとして 働きたいを思う	<input type="checkbox"/>				
計画を立てるより、行動 をしてしまうことが多い	<input type="checkbox"/>				

40. あなたの性別を教えてください。

1つだけマークしてください。

- 男 38.2%
- 女 61.8%
- その他 0.0%

41. あなたの現在の住まいについて教えてください。

1つだけマークしてください。

- 1人暮らし 38.5%
- 実家暮らし 58.4%
- そのほか 3.1%

42. あなたはアルバイトをしていますか。

1つだけマークしてください。

- |                       |       |       |
|-----------------------|-------|-------|
| <input type="radio"/> | している  | 82.1% |
| <input type="radio"/> | していない | 17.9% |